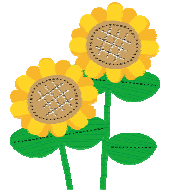


公園再生通信

7号



この通信は各地域で活動を行っている地域の皆さんやこれから活動を始めようとする皆さんの参考としていただくため発行しています。
今回は、5月の連休に行われているフラワーフェスティバルでの取組などについてご紹介します。

花いっぱいキャンペーン

毎年5月の連休に平和大通りを中心に行われる「フラワーフェスティバル」(以下、「FF」)で今年から始まった「花いっぱいキャンペーン」をご存知ですか？
今回は、この「花いっぱいキャンペーン」についてご紹介します。

—きっかけは？

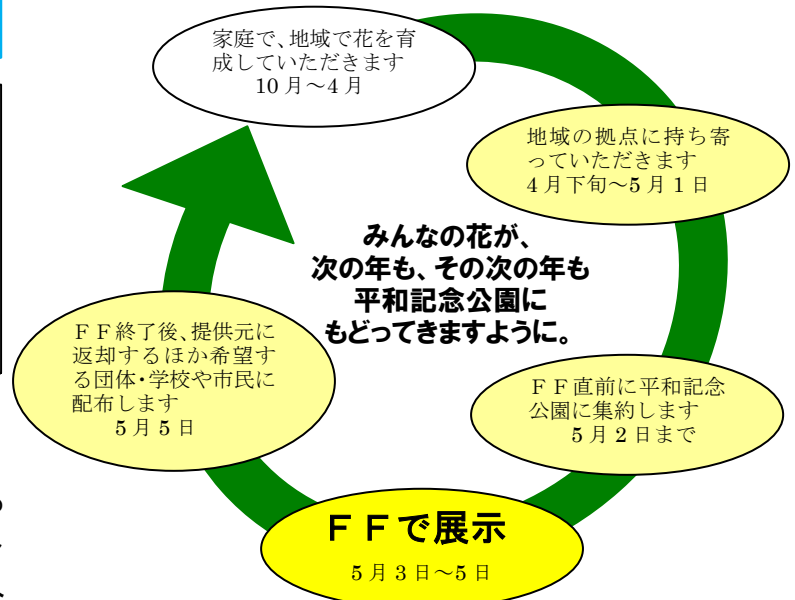
昭和52年から平和大通りを中心に行われている「FF」は、パレードやステージなど様々なイベントが行われており、県内はもとより全国から150万人以上の方が訪れるイベントで、一度は行かれたことがあるのではないのでしょうか。

このFFのサブタイトルとして、「広島と世界を結ぶ平和の花の祭典」とありますが、実際には、シンボルとしての花の塔や平和大通り内に若干花壇があるだけでした。

そこで、「FF」に訪れた人々がパレードなどだけでなく、楽しんでいただく企画として、平和記念公園内の芝生広場を花で埋め尽くすため、「花いっぱいキャンペーン」を始めました。



今年度の様子



—今後のキャンペーンの展開は？

プレイベントとして実施した今年度は、市民グループから約700鉢の花が寄せられましたが、本格稼働する来年度からは少しずつ寄せられる花を増やし、40回目の開催となる2016年には、平和記念公園の芝生広場が花で埋め尽くされるほどのイベントに育つことを目標にしています。

公園再生活動を活用し、それぞれの地域で花壇づくりが行われていますが、フラワーフェスティバルの花いっぱいキャンペーンに協力してもいいと思われる団体は緑政課までご連絡ください。(FF実行委員会の方に紹介します。)

協力していただける団体に対し、資材の提供や割引金額での資材の購入などの特典も検討中とのことです。

皆さんが活動されている街区公園などだけでなく、多くの方が訪れるフラワーフェスティバルへ花苗を出展することによって参加してみませんか。



平成21年度の活動状況

平成21年度の身近な公園再生事業が、新たな公園13箇所とこれまでに活動を行っていた8公園で行われましたので紹介します。

【新規活動公園】

- ・戸坂南公園（東区）：芝生の管理
- ・牛田公園（東区）：土壌改良等
- ・戸坂千足公園（東区）：花壇の設置
- ・福島第二公園（西区）：花壇の設置
- ・井口台西第三公園（西区）：愛称板の設置
- ・井口台東第三公園（西区）：愛称板の設置
- ・高取第四公園（安佐南区）：芝生の植付け
- ・松原川緑地（安佐南区）：花壇の設置
- ・祇園ヶ丘緑地（安佐南区）：植樹
- ・亀山第三公園（安佐北区）：花壇の設置
- ・中野東第一公園（安芸区）：遊具の塗装
- ・杉並台第一公園（佐伯区）：花壇の設置

【再活動公園】

- ・江波山公園（中区）：ベンチの設置等
- ・桜が丘公園（東区）：植樹等
- ・茶臼台公園（西区）：遊具の塗装等
- ・庚午第一公園（西区）：芝生の管理
- ・相田第七公園（安佐南区）：花壇の設置
- ・はすが丘南第三公園（安佐北区）：堆肥箱の設置等
- ・可部東第二公園（安佐北区）：ベンチの設置等
- ・矢野東第二公園（安芸区）：芝生の植付け

新たに公園再生事業の仲間が増えました。ご近所の公園でどのような活動は始まったのか、今後の参考になるかも。散歩がてらに立ち寄ってみてはいかがでしょうか？

市立大学の中島教授の調査

広島市立大学国際学部の中島教授が、これまでに公園再生活動を行った団体（中区、南区、西区、安佐南区、佐伯区）から「公園再生とコミュニティ形成に関する地域活動」に関する聞き取り調査を行われました。調査にご協力いただきました皆さんには、お忙しい中ありがとうございました。

中島教授から調査報告書が届きましたので、調査の中から地域の皆さんの声の一部をご紹介します。

- ・会ができてコミュニティが良くなった。祭りも盛んになった。
 - ・子供会と老人会の交流
 - ・お祭り・イベントで年々参加者が増加
 - ・挨拶が自然にできる。どこの誰かが分かるようになった。
 - ・公園がよく使われるようになり、みんなの目が行き届くようになって、ゴミも少なくなり綺麗な公園になった。
 - ・中学生のたむろ、タバコの投げ捨てがなくなった。
 - ・町内会が子供会を強力にサポートするようになり、子供会のメンバーが劇的に増加して、また親が役員を引き受けるようになった。
 - ・花壇の植替えやトイレ掃除などの活動を通じて、公園に対する地域の人びとの関心が高くなり、皆さんの憩いの場として公園がより利用されるようになった。
 - ・5月には花が満開になり他所から来る人が増える。
 - ・花壇づくりをしているとご苦労さまと声がかかる。
 - ・公園をきれいにしていると飼い主が犬のフンをさせない。
 - ・葉っぱを拾い掃除をするとき子供が手伝う。
 - ・遊具の塗装は子供に喜ばれた。 など
- 【詳細は以下のアドレスでご覧いただけます。】

<http://www.intl.hiroshima-cu.ac.jp/~nakashim/Nakashima/ParkReportDataHP.pdf>

公園再生事業が目指している一つである「公園が地域の皆さんに生き生きと利用され地域の人と人の結びつきの場となること」が少しずつ根付いてきているのではないのでしょうか。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

公園再生通信では、活動に役立つ情報をどんどんご紹介していきたいと考えています。また、

「どうやって解決したらいい？」

「こんな方法もあるよ！」

などの質問や情報もお待ちしています。



公園づくりの手引書「身近な公園再生の進め方」やこれまでの公園再生の事例をホームページでご覧になれます。

広島市ホームページ (<http://www.city.hiroshima.lg.jp/>)

- > 市民生活 > 市民参加・まちづくり
- > まちづくり（コミュニティ・整備・開発）
- > 整備 > 公園・緑化・緑地保全
- > 身近な公園再生事業